

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	避難訓練、防災訓練について日研防災様と職員のみで行っていた。火災が起こったときの通報の仕方を主にやっていたため、ご利用者様の避難誘導の手順などが全体できていなかった。今後通報訓練および避難誘導もしていかなければならない。	1年に2回以上という避難・防災訓練の中で、利用者様の避難誘導及び、新入社員を含めた職員の通報訓練を密に徹底して行っていく。また、地域の避難場所など改めて理解し、その場所への避難誘導を行う。	日研防災様と連携をとり、避難訓練の内容、日程を決める。また屋外への避難誘導、避難経路の確認、地域の避難場所の確認をしていく。また職員同士、避難誘導に関しての知識、理解を深め、危機感をもって訓練に参加する。	3ヶ月
2	6	利用者様1人ひとり、個人を尊重した介護・介助の方法を職場全体で取り組む。経験の浅い職員もいる上、利用者様の体調も変化していくのでその都度適切な対応が出来るよう職員の育成をしていく。	職員1人ひとりが、研修を通して、介護についての専門知識、認知症についての専門意識を深めていく。また、介護だけでなく利用者様との人間関係もさらに深め馴染みの関係を築く。	毎月の職員会議の中で行われる、専門知識を身につけるための勉強会に積極的に参加する。また、職員同士気付きを出し合いお互いに共通理解をし、介護に対する専門性をみにつける。助け合うことでお互いが学べる場をつくる。	6ヶ月
3	2	今現在、地域との付き合いとして、施設回りに花を植えに来て下さったり、毎年開催する夏祭りといった少ないつながりしかない。地域とのつながりを持つことで、協力し合い助け合える関係になり、信頼関係をさらに構築していかなければならない。	地域密着型なため、地域での行事に参加したり、気軽に足を運んで頂けるような施設づくりに努める。地域の方々との信頼関係を深める。	花を植えに来て下さった際には、近くに出向き、職員、利用者様、地域の方との会話の中で信頼関係を築いていく。また、施設側から地域に出向き、地域の行事に参加し、交流を深めていく。	12ヶ月
4	1	利用者様主体の運営を施設全体で実地できているか再確認していかなければならない。大変だからと、職員主体の運営にならないよう、改めて職場全体で理念の共有をしていく。	職員1人ひとりが理念を理解し、利用者様のニーズに何時でも応えられるようにしておく。また、利用者様が気軽に要望が言えるような環境を整えていく。	定例会を通し、理念の共通理解が出来る場をつくる。また、利用者様を尊重した上で日ごろから馴染みの関係をつくることで何でも話せるように努めていく。	3か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。